

# いちのせきの教育



じゃんけんぽん！ ～みんなで仲良く汽車ポッポ～

## 2023

一関市教育委員会

## 一 関市民憲章

わたくしたちは ゆたかな自然と  
悠久の歴史に育まれた いわいの里に  
誇りを持ち 心あわせて活力ある  
一関をつくるため この憲章を  
定めます

- 一 教養を高め  
誇れる文化を育てます
- 一 健康で働き  
豊かな郷土を築きます
- 一 自然を愛し  
美しい環境を守ります
- 一 思いやりと協力で  
安全な暮らしをつくります
- 一 地域が結び合い  
輝く一関を目指します

(平成18年9月1日制定)

# はじめに

一関市教育委員会

教育長 小 菅 正 晴

今日の教育を取り巻く社会環境は、多様に変化しており、グローバル人材の育成、キャリア教育の推進、子どもの状況に応じた特別支援の充実、いじめ防止等の対策、人格形成の基礎となる幼児教育の振興など、教育の質の向上が求められております。

また、市民の学習意欲の高まりに応じた多様な学習機会を提供することや、先人からの文化を受け継いでいくこと、文化財を保護し、活用することが求められております。

現在、市立小中学校は児童生徒の減少から学校統合を進め、小学校が21校、中学校が14校の合わせて35校となったところであります。

少子化が進むなかで、一関の持続的な発展を支えていくためには、心身共に健やかな人材の育成が欠かせないものと認識しており、将来を担う子どもたちが、ふるさと一関に誇りと愛着を持ち、地域を支える人材に成長するよう、教育行政を推進してまいります。

本年度は、平成28年度から令和7年度までを計画期間とする「一関市教育振興基本計画」の後期事業計画の3年目となります。この計画の基本目標である『学びの風土を礎に<sup>いしげえ</sup>心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり』の実現に向けて、「ことばを大切にする教育プロジェクト」、「グローバル人材育成プロジェクト」、「学校と地域の協働推進プロジェクト」及び「世界遺産拡張登録推進プロジェクト」の四つの重点プロジェクトを中心に積極的に教育施策を展開してまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症は5類感染症に変更となり、行動制限が解除されてきていることから、今後は学校行事などを通じて、子どもたちの成果を発揮する場、体験を通して学べる機会を提供してまいります。

また、学校教育においては、引き続き子どもたちの健康を第一に考え、国が示す学校の新しい生活様式を踏まえた衛生管理を行いますとともに、「GIGAスクール構想」によるICTを活用した教育環境の整備・充実を進めていく所存です。

このたび、当市の教育の現状や振興の施策などを、皆様に紹介するため、「いちのせきの教育」を刊行いたしました。本書が幅広く活用され、より一層のご理解を深めていただく一助になれば幸いです。

結びに、当市の教育行政施策の推進にあたりまして、一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、挨拶といたします。

# 目 次

一関市の概要	(4)
教育行政	
Ⅰ 教育委員会	(5)
1 教育委員    2 教育委員会機構図    3 市の関係課等	
Ⅱ 令和5年度教育行政方針	(7)
Ⅲ 教育財政	(12)
1 令和5年度一関市一般会計当初予算    2 教育費の内訳	
3 学校の校地、建物の面積と教室数	
学校教育	
一関市学校教育の基本構想	(17)
Ⅰ 令和5年度学校教育行政の方針及び指導の重点	(18)
Ⅱ 幼稚園教育の方針及び重点	(20)
Ⅲ 学校教育関係事業	(21)
1 重点課題・事業等について    2 市教育委員会指定研究校等について	
3 総合訪問    4 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会	
5 文部科学省・岩手県教育委員会・県研究団体等	
Ⅳ 市内各学校(園)の概況	(25)
1 児童生徒数・学級数・教職員数	
2 学校紹介	
(1) 小学校    (2) 中学校    (3) 高等学校    (4) 高等専門学校・短期大学	
(5) 特別支援学校    (6) 幼稚園・認定こども園	
Ⅴ 学校保健	(66)
1 児童・生徒の健康	
令和4年度身長・体重(男女別平均値)	
2 学校保健団体等	
(1) 令和5年度一関市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師    (2) 一関市学校保健会役員	
(3) 一関市学校保健会評議員	
3 学校給食	
(1) 学校給食の現状    (2) 学校給食センター	
Ⅵ 各種委員会	(75)
1 「中学生の社会体験学習」実行委員会	
2 一関市就学支援委員会	
3 一関市生徒指導推進連絡協議会	
4 一関市いじめ問題対策連絡協議会	
5 一関市学校給食センター運営委員会	
6 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会	
7 一関市奨学生選考委員会	

VII	令和5年度一関市教育研究所の運営について	(82)
1	運営方針	
2	運営の重点	
3	運営組織	
4	運営の方針及び重点に基づく各事業内容	
5	令和5年度事業計画	
6	各事業計画	

## 社会教育

I	社会教育行政の方針	(87)
1	一関市教育振興基本計画の概要	
2	社会教育行政の方針	
3	文化財行政の方針	
II	令和5年度社会教育行政施策の体系と事業	(94)
1	社会教育行政の方針	
2	文化財行政の方針	
3	令和5年度事業計画書	
III	社会教育関係施設紹介	(106)
1	市民センター	
2	図書館	
3	社会教育文化施設	
4	宿泊交流研修施設	
IV	指定等文化財一覧	(134)
V	社会教育関係委員	(140)
1	社会教育委員	
2	一関市立図書館協議会委員	
3	いちのせき健康の森運営委員会委員	
4	文化財調査委員	
5	博物館協議会委員	
6	石と賢治のミュージアム運営委員会委員	
7	芦東山記念館運営委員会委員	
8	骨寺村荘園遺跡指導委員会委員	
資料 I	一関市教育委員会歴代委員	(142)
II	一関市教育委員会の沿革	(143)

## 一関市の概要

一関市は、岩手県の南端に位置し、南と東は宮城県、西は秋田県と接しています。特に宮城県北地域との結びつきは強く、北上川を介しての交流も古くから行われてきました。

一関市は、四季折々に多彩な表情を示すめぐみ豊かな自然に包まれています。そのなかで象徴となっているのは、市の西側、奥羽山脈にそびえる栗駒山と、市の東側、緩やかな丘陵地が広がる北上高地の独立峰となっている室根山などの山々です。栗駒山の周囲には深い森が広がり、湯量豊富な須川温泉をはじめ多くの温泉に恵まれています。北上高地は隆起準平原地形で、なだらかな高原には牧場が各所に開かれています。また、平泉の歴史との関わりが深い東稻山も特徴的な山容を見せています。

北上平野の南端部にあたる市の中央部には標高の低い平地が広がり、東北一の大河北上川がゆるやかに流れています。北上川の支流は、西から磐井川、金流川、東から砂鉄川、千厩川などが注ぎ込み、流域に水のめぐみをもたらしています。磐井川の中流域には溪谷美を誇る巖美溪、砂鉄川には石灰岩地帯を深く刻み込んだ猊鼻溪があり多くの観光客が訪れる名所となっています。

一関市の歴史は古く、旧石器時代から人が住み始めた形跡が見られ、縄文時代や弥生時代の遺跡も各地にあります。平安時代には安倍氏、藤原氏が独自の文化を築き上げ、その後葛西氏、伊達氏、田村氏の治世下に置かれました。

明治の近代化以降の地域の成り立ちは、明治の廃藩置県によって胆沢県、一関県、水沢県、磐井県と変遷し、明治9年に岩手県に編入されました。戦後まもなくまでは、32の町村に分かれていました。

昭和23年から33年にかけてのいわゆる昭和の大合併によって、旧一関市、旧花泉町、旧大東町、旧千厩町、旧東山町、旧室根村、旧川崎村、旧藤沢町となり、平成17年9月20日に7市町村が合併し、さらに平成23年9月26日には旧藤沢町との合併を経て現在の一関市となりました。

# 教 育 行 政

# 教育行政

## I 教育委員会

### 1 教育委員



伊藤委員  
(職務代理者)



小菅教育長



佐藤委員



桂島委員



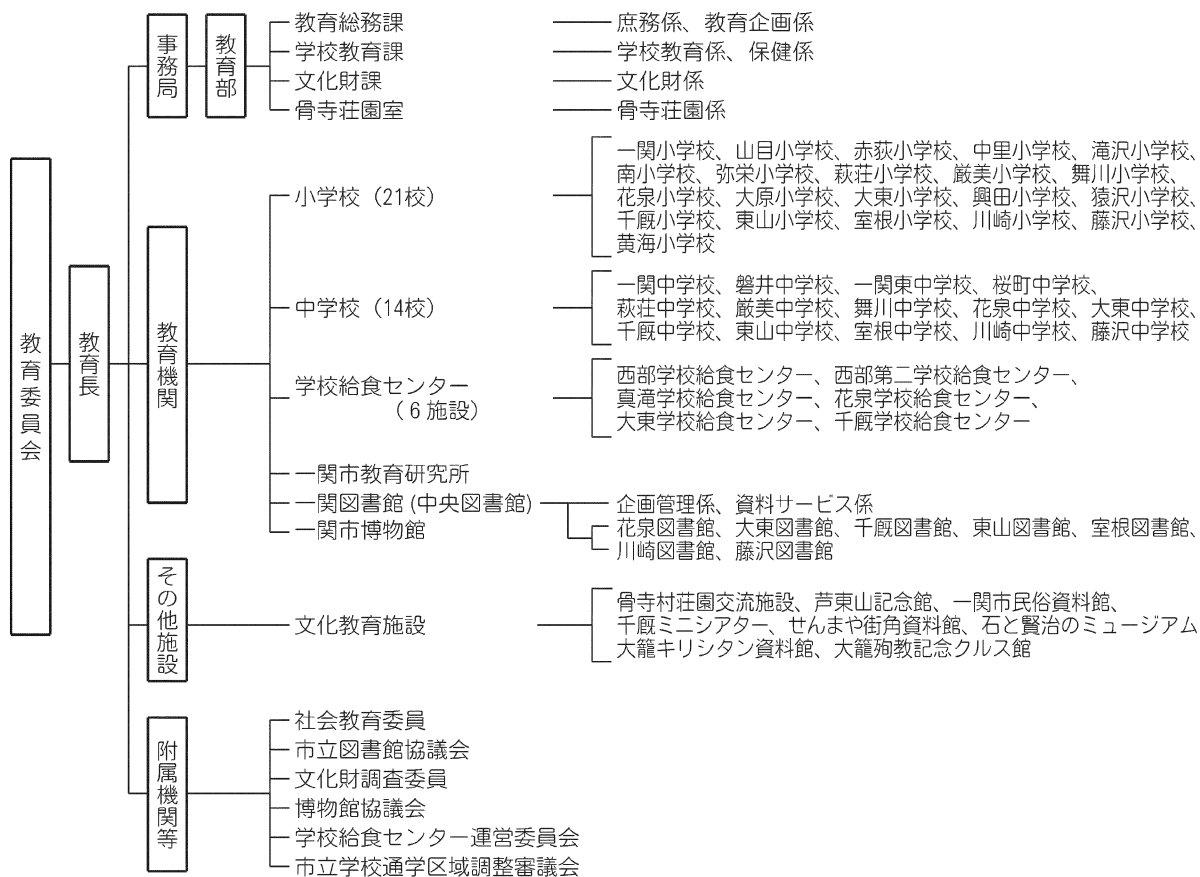
大浪委員

令和5年7月1日現在

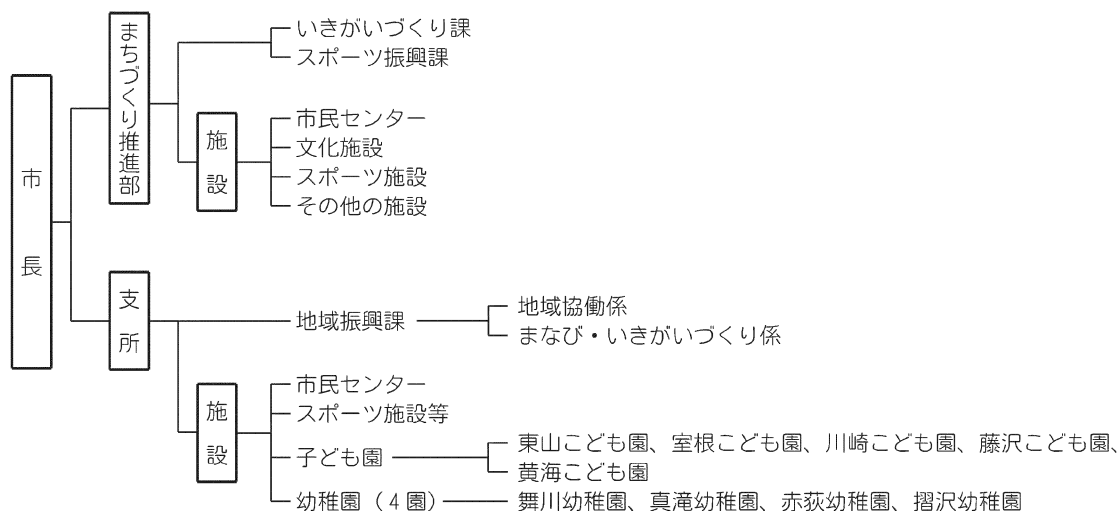
職 務	氏 名	委員の任期
教 育 長	小 菅 正 晴	令和5年10月28日
教育長職務代理者	伊 藤 一 志	令和7年10月28日
委 員	佐 藤 一 伯	令和6年10月28日
委 員	桂 島 加 奈 子	令和5年10月28日
委 員	大 浪 友 子	令和8年10月28日



## 2 教育委員会機構図



## 3 市の関係課等



## II 令和5年度教育行政方針

# 学びの風土を礎に 心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関のひとづくり

令和5年一関市議会定例会第102回2月通常会議の開会にあたり、令和5年度の教育行政施策について申し上げます。

### 1. はじめに

今日の教育を取り巻く社会環境は、急激に変化してきております。市内の人口減少は進行しておりますが、学校を見ると、今年度の中学3年生は887人、小学1年生は735人であり、子どもにおいてより顕著に現れてきております。そのような中で、令和5年度には統廃合により、小中学校数が現在の43校から35校に変化します。

この子ども減少の時代にあって、世の中をたくましく生き、地域の未来を切り開く人材の育成は一層重要であり、その使命を教育は担っております。環境や平和など地球的規模の視点で求められる持続可能な社会に向けた考え方、キャリア教育や文化財保護活用など地域にどう関わりどう貢献していくのかの姿勢、特別支援や不登校への多様性を踏まえた個別最適な学びなど、教育の質の向上が一層求められてきております。これらの教育への社会的要請に応え、一関の持続的な発展を支えていくために、子どもたちがふるさと一関に誇りと愛着を持ち、知徳体の資質を兼ね備えた地域を支える人間に成長するよう、生涯学習の機会を充実させながら、教育行政を推進してまいります。

### 2. 重点的に取り組む施策（重点プロジェクト等）

教育振興基本計画後期事業計画の3年目となる令和5年度は、計画の目標に掲げた「学びの風土を礎に心豊かにたくましく 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」、この実現に向けて、四つのプロジェクトを重点としながら、引き続き計画を着実に推進してまいります。

それでは、四つの重点プロジェクトから、申し上げます。

#### (1) ことばを大切にする教育プロジェクト

一つ目は、「ことばと読書」、「ことばの響き」、「ことばの先人」を柱として、子どもたちに、語彙の豊かさ、ことばの感性、心の豊かさを育むことを目指す「ことばを大切にする教育プロジェクト」であります。

「ことばと読書」については、公立図書館との連携を図りながら学校図書館システムの活用を進め、読書の楽しさにふれさせてまいります。

「ことばの響き」について幼稚園等では、「ことばの時間」に響きやリズムのよい詩や諺、絵本の読み聞かせなどに楽しみながら触れさせてまいります。

小学校では、市が独自に作成した「ことばのテキスト『言海』」を用いて、音読・素読に取り組み、一層の質の向上を目指しながら、ことばの感性を高めてまいります。

「ことばの先人」については、「ことばのテキスト『言海』」の先人ページを取り上げること、また、博物館学芸員が小中学校において、ことばを通じて人々に大きく影響を与えた先人を学ぶ授業を行うことにより、郷土の歴史に対する理解を深め、郷土への誇りを育ててまいります。

#### (2) グローバル人材育成プロジェクト

二つ目は、グローバル化していく現代社会に対応できる人材の育成を目指す「グローバル人材育成プロジェクト」であります。

キャリア教育については、「地域に学び、地域で育てる」という視点に立って、全ての中学2年生が5日間の社会体験学習に取り組んでまいります。

また、中学生最先端科学体験研修や小中学生を対象とした英語の森キャンプの実施、外国語指導助手(ALT)の派遣などを進めてまいります。加えて、英語検定料補助を通して、英語の力を高めようとする中学校生徒の意欲を支援します。

さらに、GIGAスクール構想に基づき導入した1人1台タブレットの有効活用を推進するとともに、統合型校務支援システムを導入し、学校のICT環境を充実させます。

そして、本市教育の特色でもある、小学校での「ことば」の学び、中学校での社会体験学習での学びを通して、グローバル化する社会にあっても、故郷に根づくアイデンティティを大切にす教育を展開してまいります。

### (3) 学校と地域の協働推進プロジェクト

三つ目は、地域とともに歩む学校を目指す「学校と地域の協働推進プロジェクト」であります。

学校からは、学校の情報や活動の様子をホームページ等で発信するとともに、学校運営に保護者や地域住民が関わるなど、地域社会全体で子どもたちの健やかな成長を育む取組を進めてまいります。

なお、令和4年度から既に市内9校に学校運営支援協議会、いわゆるコミュニティ・スクールを設置し、育てたい子ども像を地域と共有し、学校の支援に向けて協働しておりますが、今後、令和6年度までに市内全ての小・中学校において設置する予定であります。

### (4) 世界遺産拡張登録推進プロジェクト

四つ目は、骨寺村荘園遺跡の世界文化遺産拡張登録を目指す「世界遺産拡張登録推進プロジェクト」であります。

これまで拡張登録の実現に向け、研究者など専門家の助言をいただきながら、構成資産となるよう取組を進めてまいりました。今後、文化庁に提出する推薦書素案への構成資産の取扱いについて、県・関係市町と連携して協議を続け、方向性を確定してまいります。

また、重要文化的景観「一関本寺の農村景観」の保全活用に地域住民と協働で取り組むとともに、現在、市長が会長を務める全国文化的景観地区連絡協議会の総会並びに大会が令和5年度に一関市で開催されることから、その成功に向けて取り組んでまいります。

### (5) 教育環境の充実

そのほか、児童生徒数の推移や学校施設の老朽化の状況などを踏まえ、より良い教育環境の確保のため、学校規模の適正化を進めております。

令和5年4月には、花泉地域の6つの小学校が統合し、新たな花泉小学校が、大東地域の3つの中学校が統合し、新たな大東中学校が開校します。また、藤沢地域では、新沼小学校が閉校し、藤沢小学校に統合します。

花泉小学校については、新しい校舎と屋内運動場が完成したところですが、引き続きプール建設と屋外環境整備工事の完了に向けて工事を進めてまいります。

大東中学校についても、引き続き校舎の改修と増築工事を進めてまいります。

一関小学校については、場所は現在の敷地に新校舎を建設することとし、その構造などについては引き続き具体的な検討を進めてまいります。

また、校舎等の照明のLED化を計画的に進めてまいります。

他の地域においても、今後の児童生徒数の推計などを示しながら、地域の方々や保護者等とともに、学校規模の適正化を考えてまいります。

### (6) 学校部活動の地域移行

加えて、生徒数の減少や教員の働き方改革などの状況の変化を見据え、生徒にとって望ましい部活動の環境を構築し、持続可能な部活動を実現するため、学校部活動から地域部活動への移行を推進します。

令和4年度から2つの地域部活動が活動を始めており、今後も、地域で指導者等の体制が整った学校部活動から持続可能な部活動へ移行する取組を推進します。

以上は、令和5年度において特に重点的に取り組む内容ですが、新型コロナウイルス感染症の感染状況などに配慮しながら、事業の実施を判断してまいりたいと考えているところです。

以降については教育行政の具体的な施策について、教育振興基本計画に定める施策の基本方向に沿って申し上げます。

### 3. 社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

一つ目に「社会を生き抜く力を育む学校教育の充実」について申し上げます。

#### (1) 確かな学力の育成

確かな学力の育成については、算数・数学を重点教科に位置づけ、学習支援員の配置による指導を行うほか、基礎計算力、集中力を高めるために、「陰山メソッド」の百ます計算を取り入れるなど、児童生徒の基礎学力の向上を図ってまいります。

また、これら基礎学力を土台として、授業とは別に、算数・数学の面白さに触れさせたり、アートワークショップを通じて個性を輝かせたりするなど、学びを深める事業にも取り組んでまいります。

#### (2) 豊かな心の育成

豊かな心の育成については、あらゆる教育活動の土台となるものであり、人としての在り方、考え方を常に意識させ指導にあたってまいります。その中心となる道徳教育においては、新学習指導要領に示されている「考える道徳・議論する道徳」を推進してまいります。

このほか、積極的に自然体験、社会体験活動を取り入れ、SDGsの理念とも関連させながら、福祉やボランティア活動などを通して社会に関わる心構えや姿勢を培ってまいります。

#### (3) 健やかな体の育成

健やかな体の育成については、保健面からは、児童生徒がバランスの取れた食事や規則正しい生活など、望ましい生活習慣について考え、実践していく取組を推進してまいります。

運動面からは、体育授業の充実のほか、家庭と協力しながら1日60分以上の運動、いわゆる「60(ろくまる)運動」など、日常的に運動の機会を確保する取組を推進してまいります。

中学校の部活動については、引き続き各学校では平日週1日と日曜日を休養日に設定し、健康や生活とのバランスにも配慮した活動を推進してまいります。

#### (4) 学校給食

学校給食については、安全・安心な給食の安定した提供に努めるとともに、食材費の高騰に対応しながら、できる限り地場産品や郷土食の提供を行うほか、望ましい食習慣の形成に向けた食育指導を充実してまいります。

#### (5) 社会の変化に応じた教育

社会の変化に応じた教育については、職業観・勤労観の育成を図りつつ、地域を知り、地域の方々から学ぶキャリア教育を、発達段階に応じて推進してまいります。

また、児童生徒1人1台タブレットなどのICTを効果的に活用した授業を展開し、学力の定着や、情報活用能力を育成してまいります。そのために、ICT指導員やICTサポーターを中心に、教員のICT機器活用能力の向上を図ってまいります。

さらに、小学校高学年を対象とする「いちのせきITキッズ育成プロジェクト」事業を展開し、ICTに関する知識及び技能を身に付け、自分の進路選択や地域社会にいかすことのできる人材の育成を進めてまいります。

#### (6) 特別支援教育

特別支援教育については、支援を要する子どもが増加傾向にあることから、特別支援に関する研修を充実させるとともに、就学相談体制の充実を図り、小中学校には学校サポーターを配置し、一人ひとりに応じた支援を充実してまいります。

#### (7) 不登校対応

不登校については、年間30日以上欠席である不登校児童生徒の割合が本市も全国も年々増加し、その理由や背景は複雑化しております。各学校では家庭との連携を緊密にし、「絆づくり・居場所づくり」で新たな不登校児童生徒を出さないことを重点に取組を進めてまいります。

また、不登校児童生徒に対しては、学校に配置した適応支援相談員が状況を踏まえて対応するなど、相談活動を充実させてまいります。

また、別室登校、タブレットの活用、適応支援教室「たんぼぼ広場」における学習支援と交流体験活動など学習の場を多様に設置してまいります。

#### (8) いじめ対策

いじめへの対策については、各学校で策定した「いじめ防止基本方針」に基づき組織的に対応し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努め、関係機関との情報共有や連携を強化してまいります。

#### (9) 幼稚園

幼稚園については、幼稚園教育要領で重点とされている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭に、小学校との連携を密接にし、就学前教育を充実してまいります。

なお、現在8つの施設がある一関市立幼稚園については、より効果的で効率的な教育環境を整えるため、一関地域の7つの幼稚園を令和5年4月から3園に集約することとしております。

また、大東地域の摺沢幼稚園についても、近接する摺沢保育園との統合による認定こども園化を計画しております。

開園当初は現在の摺沢保育園を活用することとし、令和6年度中に現在の摺沢幼稚園を増改築し、令和7年度から移転を計画しているところです。

なお、幼稚園の担当部署は健康こども部に組織再編され、事務を補助執行することとなりますが、教育研究内容については引き続き教育委員会も連携し所掌してまいります。

#### (10) 学校安全

学校安全については、放射性物質による汚染対策として、引き続き、学校施設や地場産食材等の放射線量を測定してまいります。

また、地域ボランティア等の見守り活動の協力をいただきながら、登下校時における児童生徒の安全を確保するとともに、災害等の緊急時における行動について指導してまいります。

#### (11) 教職員の働き方改革

教職員の働き方改革については、業務内容の見直しや勤務時間を意識した働き方を進めるなど長時間勤務の是正を図り、授業準備や、個別指導のための時間などを確保するとともに、教職員がワークライフバランスを意識し、いきいきと仕事に向かうことができるよう改善を進めてまいります。

また、統合型校務支援システムの令和6年度からの運用に向けて、準備を進めてまいります。

### 4. とともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進

二つ目に「ともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進」について申し上げます。

#### (1) 社会教育

社会教育については、市民が生涯にわたって自ら学ぶことができるよう、ニーズに対応した市民センター等での講座を企画するなど、多様な学習機会を提供してまいります。

また、市民センターでは、令和4年度から社会の変化に応じて必要な現代的課題について、テーマに沿った共通取組を実施することとしており、令和5年度は家庭における児童生徒のインターネット利用についてのテーマを設け、取り組んでまいります。

さらに、これらの取組や地域づくり活動にいかすため、指定管理を行っている市民センターの職員が社会教育主事講習を受講する際の費用等について支援してまいります。

#### (2) 家庭教育

家庭教育については、家庭での教育やしつけなどを通して子どものモラルの土台が育まれるものことから、「いちのせきの家庭教育10か条」の普及を図り、教育の原点である家庭教育を支援してまいります。

また、昨今スマートフォンやゲーム機などの通信機器の利用については、依存やトラブルなどの弊害が多く見られることから、小学生では午後8時以降、中学生では午後9時以降にはそれらを居間に置いて使わない運動（居間8（イマハチ）ルール、居間9（イマキュウ）ルール）を子ども、家庭、学校と協力して進めてまいります。

### (3) 図書館

図書館については、市全体の貸出冊数が県内の自治体で最多となっており、多くの方々に利用されているところであります。

今後も、図書館サービスの向上に努めるとともに、電子書籍やオンラインデータベースなどによる読書環境のさらなる充実に努め、市民が集う地域の情報拠点としての役割を一層高めてまいります。

また、デザイナー・造本作家の駒形克己さんのワークショップを各地域で開催するほか、市内8館が地域の特色をいかした運営を進めるとともに、学校図書館への支援や、乳幼児に対する読み聞かせの実施、移動図書館など、館外サービスにも引き続き取り組んでまいります。

### (4) 博物館

博物館については、市民はもとより、周辺市町村をはじめとして全国各地からの入館者もあるなど、当地方における歴史や文化に対する関心の高さがみられることから、更なる運営の充実に努めてまいります。

令和5年度は企画展として生誕100年を迎える一関ゆかりの版画家・洋画家の福井良之助の作品の展示や関連行事の開催のほか、テーマ展や各種講座、体験学習など事業の充実に努めてまいります。

併せて、民俗資料館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム及び大籠キリシタン殉教公園についても、企画・展示の充実に努めるなど、身近な場所で地域の歴史・文化が学べる場を提供してまいります。

## 5. 誇りと愛着を醸成する文化の継承

三つ目に「誇りと愛着を醸成する文化の継承」について申し上げます。

### (1) 文化財の保護

文化財については、歴史や文化の調査研究を進めるとともに、修繕や保護活動への助成等により、地域の文化財を良好な形で後世に伝えてまいります。

また、市の広報誌などを活用した情報発信や標柱解説板整備を継続的に行い、地域の財産である文化財への理解促進と保護意識の啓発に努めてまいります。

### (2) 地域文化の伝承

地域文化の伝承については、民俗芸能の調査研究を進めるとともに、後継者育成支援や活動状況の映像記録、保存を継続的に行い、継承活動を支援してまいります。

## 6. おわりに

以上、令和5年度の教育行政施策の概要を申し上げましたが、これらは、一関市教育振興基本計画後期事業計画に基づいて計画的に進めるものであります。

現在進めている施策や業務については、スクラップアンドビルドの原則に立ち、より効果的で真に必要なものに精選していく、不断の見直しの視点も大切にしております。なお、教育委員会の所在地については、現在の本庁舎内から花泉支所内に変更しますが、学校や他部署等との連携などをできるだけ早く軌道に乗せ、一層効率的な業務推進に努めてまいります。

また、各施策の推進にあたっては、学校、家庭、地域、企業、行政が共通理解のもと、当市の教育行政に携わる全ての関係者の連携・協働が必要であります。

教育委員会といたしましては、地域資源をいかした教育行政施策を進め、郷土の誇りを未来に引き継ぎ、新たな創造を加えてまいりたいと考えておりますので、議員各位並びに市民、教育関係者の皆さまのご理解、ご協力、ご指導を心からお願い申し上げます。

### Ⅲ 教育財政

#### 1 令和5年度一関市一般会計当初予算

##### (1) 歳入

款	予算額	構成比
1 市 税	12,893,693	19.34
2 地方譲与税	1,054,284	1.58
3 利子割交付金	3,292	0.00
4 配当割交付金	37,252	0.06
5 株式等譲渡所得割交付金	43,158	0.06
6 法人事業税金交付金	164,758	0.25
7 地方消費税交付金	2,729,975	4.09
8 ゴルフ場利用税交付金	11,970	0.02
9 環境性能割税金交付金	49,419	0.07
10 地方特例交付金	78,834	0.12
11 地方交付税	24,256,516	36.38
12 交通安全対策特別交付金	13,636	0.02
13 分担金及び負担金	264,747	0.40
14 使用料及び手数料	334,600	0.50
15 国庫支出金	6,368,642	9.56
16 県支出金	5,506,846	8.26
17 財産収入	679,079	1.02
18 寄附金	1,502,000	2.25
19 繰入金	5,178,722	7.77
20 繰越金	1	0.00
21 諸収入	1,017,337	1.54
22 市債	4,495,680	6.74
歳入合計	66,684,441	100.0

##### (2) 歳出

款	予算額	構成比
1 議会費	286,133	0.43
2 総務費	11,051,133	16.57
3 民生費	18,958,805	28.43
4 衛生費	6,045,897	9.07
5 労働費	199,749	0.30
6 農林水産業費	5,596,395	8.39
7 商工費	2,266,051	3.40
8 土木費	5,855,060	8.78
9 消防費	2,717,440	4.08
10 教育費	4,669,307	7.00
11 災害復旧費	2	0.00
12 公債費	8,988,400	13.48
13 諸支出金	69	0.00
14 予備費	50,000	0.07
歳出合計	66,684,441	100.0

## 2 教育費の内訳

(令和5年度当初予算)

内 訳	予算額 (千円)	構成比 (%)	内 訳 (単位：千円)
教育総務費	607,331	13.0	○教育委員会費（特別職給与費、教育委員会運営費、全国都市教育長協議会負担金、東北都市教育長協議会負担金、岩手県市町村教育委員会協議会負担金） 18,458
			○事務局費（職員給与費、教育委員会事務局運営費、奨学金貸付事業費、児童・生徒・学生顕彰事業費、県職員派遣費負担金、岩手県安全運転管理者部会連合会負担金、安全運転管理者事業主会負担金、私立高等学校生徒学費補助金、下宿等費用補助金、一関市学校保健会補助金、私立学校運営費補助金、学校施設財産処分積立基金積立金） 362,994
			○教育研究所費（会計年度任用職員給与費、学力実態調査事業費、教育研究事業費、教育研究所連盟負担金） 31,685
			○教育指導費（会計年度任用職員給与費、ことばの力を育てる教育推進事業費、教育指導事業費、外国語指導助手配置事業費、中学生の社会体験学習事業費、特別支援教育推進事業費、幼児ことばの教室事業費、障がい児就学支援事業費、学校不適応対策支援事業費、市内幼小中高特高専大校運営推進事業費、中学生最先端科学体験研修事業費、命をつなぐプロジェクト事業費、学びの活性化事業費、いじめ問題対策事業費、日本学校教育学会学力向上支援事業費、一関地方教育推進協議会負担金、一関生徒指導推進協議会負担金、岩手県特別支援教育研究会負担金、岩手県きこえ・ことば・LD等教育研究会負担金） 194,194
小学校費	1,140,611	24.4	○学校管理費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、学校運営事業費、学校給食事業費、学校保健事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、学校安全互助会負担金、岩手県学校給食研究会負担金、特別支援学級設置学校長協議会負担金、一関市幼小教育連絡協議会負担金） 866,133
			○教育振興費（教材備品等購入費、理科設備用品購入費、図書購入費、指導用教科書購入費、就学援助費、特別支援教育就学奨励費、学校用コンピュータ整備事業費、遠距離通学対策事業費、小学校体育連盟補助金） 255,677
			○学校建設費（一関小学校整備事業費） 18,801
中学校	834,989	17.9	○学校管理費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、学校運営事業費、学校給食事業費、学校保健事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、学校安全互助会負担金、特別支援学級設置学校長協議会負担金） 553,045
			○教育振興費（教材備品等購入費、理科設備用品購入費、図書購入費、指導用教科書購入費、就学援助費、特別支援教育就学奨励費、学校用コンピュータ整備事業費、遠距離通学対策事業費、中学校文化活動補助金、英語検定料助成金、中学校文化連盟補助金、中学校体育連盟補助金） 281,944



内 訳	予算額 (千円)	構成比 (%)	内 訳 (単位：千円)
幼稚園	230,202	4.9	○幼稚園費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、施設管理費、幼稚園運営事業費、幼稚園保健事業費、実費徴収補足給付費、幼稚園一時預かり事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本スポーツ振興センター負担金、岩手県国公立幼稚園・こども園協議会負担金、一関地区公立幼稚園研究協議会負担金、一関市幼小教育連絡協議会負担金） 230,202
学校給食センター費	1,075,358	23.0	○学校給食センター費（職員給与費、会計年度任用職員給与費、学校給食センター運営費、郷土愛を育む食育交流事業費、公共施設等総合管理計画推進費、岩手県学校給食センター協議会負担金） 1,075,358
社会教育費	780,816	16.8	○社会教育総務費（職員給与費、青少年健全育成事業費、英語の森キャンプ事業費、二十歳のつどい開催費、学校施設開放事業費、地域学校協働活動事業費、岩手県社会教育連絡協議会負担金、教育振興運動実践活動補助金、社会教育関係団体活動費補助金、女性団体活動費補助金、キャンプ場開き開催補助金、ユネスコ協会活動費補助金、一般事務費） 284,250
			○文化財保護費（会計年度任用職員給与費、一般文化財費、埋蔵文化財費、文化財保存管理費、民俗芸能伝承記録保存事業費、骨寺村荘園遺跡調査研究事業費、文化的景観保護推進事業費、骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業費、骨寺村荘園遺跡保全活用事業費、文化財標柱・解説板整備事業費、本寺地区地域活動支援事業費、ときめき世界遺産塾負担金、全国史跡整備市町村協議会負担金、全国文化的景観地区連絡協議会負担金、全国近代化遺産活用連絡協議会負担金、全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会負担金、岩手県文化財愛護協会負担金、岩手県史跡整備市町村協議会負担金、指定文化財保護事業補助金、郷土芸能活動事業補助金） 58,123
			○図書館費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、運営事業費、巡回文庫費、図書館資料整備事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本図書館協会負担金、岩手県図書館協会負担金、岩手県統計協会負担金、岩手県南第一地域視聴覚教育協議会負担金） 273,629
			○博物館費（会計年度任用職員給与費、資料関係費、展示費、調査研究費、交流連携費、運営事業費、施設管理費、企画展示費、古文書等資料調査費、骨寺村荘園調査研究費、大槻家資料保存活用事業費、民俗資料館運営事業費、公共施設等総合管理計画推進費、日本博物館協会負担金、全国美術館会議負担金、東北史学会負担金、岩手県博物館等連絡協議会負担金） 125,098
			○石と賢治のミュージアム費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、自主事業費、公共施設等総合管理計画推進費、岩手県博物館等連絡協議会負担金） 14,229
			○芦東山記念館費（会計年度任用職員給与費、施設管理費、自主事業費、調査研究費、岩手県博物館等連絡協議会負担金） 18,753
			○大籠キリシタン殉教公園費（施設管理運営費） 6,734
計	4,669,307	100	

### 3 学校の校地、建物の面積と教室数

令和5年5月1日現在

区分	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)				教室数			
	建物敷地	屋外運動場	その他	計	校舎	屋内運動場	計	柔道場	普通教室	特別教室	計	
小学校	1 一 関	9,119	11,415	1,640	22,174	5,434	969	6,403	0	23	10	33
	2 山 目	8,095	14,247	5,663	28,005	7,015	1,363	8,378	0	20	11	31
	3 赤 荻	6,300	7,333	1,153	14,786	2,737	963	3,700	0	14	8	22
	4 中 里	6,063	3,091	3,825	12,979	2,754	895	3,649	0	9	9	18
	5 滝 沢	7,590	15,613	10,945	34,148	2,735	828	3,563	0	7	8	15
	6 南	8,199	7,840	2,522	18,561	6,418	1,258	7,676	0	15	11	26
	7 弥 栄	7,182	9,600	6,219	23,001	2,104	803	2,907	0	6	5	11
	8 荻 荘	14,332	11,551	14,688	40,571	5,971	1,289	7,260	0	15	10	25
	9 巖 美	4,456	4,668	2,329	11,453	2,109	696	2,805	0	8	7	15
	10 舞 川	10,971	10,727	21,249	42,947	2,699	825	3,524	0	9	7	16
	11 花 泉	21,203	11,450	5,291	37,944	6,237	1,245	7,482	0	22	10	32
	12 大 原	7,553	9,306	3,226	20,085	3,515	1,019	4,534	0	9	6	15
	13 大 東	8,348	12,600	4,405	25,353	4,121	1,076	5,197	0	10	10	20
	14 興 田	5,762	17,955	5,532	29,249	3,387	1,022	4,409	0	7	7	14
	15 猿 沢	4,417	5,773	626	10,816	2,218	720	2,938	0	6	7	13
	16 千 厩	23,232	18,353	9,914	51,499	5,923	1,270	7,193	0	17	8	25
	17 東 山	9,651	10,790	7,525	27,966	5,075	1,186	6,261	0	10	7	17
	18 室 根	5,500	9,573	4,539	19,612	3,546	922	4,468	0	9	8	17
	19 川 崎	4,948	4,315	14,245	23,508	2,565	702	3,267	0	8	7	15
	20 藤 沢	14,591	4,800	1,528	20,919	4,723	1,127	5,850	226	9	8	17
	21 黄 海	3,186	3,335	7,551	14,072	2,762	750	3,512	0	7	7	14
計	190,698	204,335	134,615	529,648	84,048	20,928	104,976	226	240	171	411	

区 分	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)				教室数				
	建物敷地	屋 外 運動場	その他	計	校 舎	屋 内 運動場	計	柔道場	普通 教室	特別 教室	計		
中 学 校	1 一 関	15,110	19,037	28,921	63,068	3,965	1,237	5,202	448	9	14	23	
	2 磐 井	12,340	12,441	14,444	39,225	7,424	1,460	8,884	448	19	13	32	
	3 一関東	9,690	20,003	5,353	35,046	2,977	1,222	4,199	0	7	10	17	
	4 桜 町	14,890	9,086	1,014	24,990	4,386	1,237	5,623	0	12	12	24	
	5 萩 荘	5,330	15,585	7,528	28,443	3,132	1,189	4,321	0	8	12	20	
	6 巖 美	6,736	11,650		18,386	2,901	1,162	4,063	0	5	10	15	
	7 舞 川	5,569	8,527	8,728	22,824	1,791	858	2,649	0	5	8	13	
				借 205	借 205								
	8 花 泉	19,421	16,050	2,833	38,304	6,265	1,653	7,918	651	11	16	27	
	9 大 東	11,372	16,207	18,541	46,120	3,781	1,428	5,209	0	10	13	23	
	10 千 厩	14,400	13,300	17,085	44,785	5,887	1,337	7,224	588	11	14	25	
				借 1,410	借 1,410								
	11 東 山	14,602	12,586	20,420	47,608	3,597	1,202	4,799	417	8	14	22	
	12 室 根	9,766	11,701	4,058	24,269	3,832	1,125	4,957	427	4	12	16	
13 川 崎	11,703	23,433	14,269	49,405	3,080	1,214	4,294	400	5	9	14		
		借 5,457	借 5,457										
14 藤 沢	12,017	20,726	1,166	33,909	3,759	1,155	4,914	357	9	12	21		
計	162,946	210,332	144,360	517,638	56,777	17,479	74,256	3,736	123	169	292		
		借 5,457	借 1,615	借 7,072									
幼 稚 園 ・ こ ど も 園	1 舞 川	1,400	1,650	2,066	5,116	621		621		3		3	
	2 真 滝	1,743	2,032	862	4,637	624		624		3		3	
	3 赤 萩	960	1,517		2,477	505		505		3		3	
	4 摺 沢	1,681	1,157		2,838	572		572		3		3	
	5 東 山	3,398	2,670	218	6,286	1,297		1,297		3		3	
	6 室 根	904	1,830	2,510	5,244	922		922		3		3	
	7 川 崎	3,952	379		4,331	767		767		3		3	
	8 藤 沢	3,249	2,132	1,624	7,005	1,559		1,559		3		3	
	9 黄 海	3,105	1,331	293	4,729	889		889		3		3	
	計	20,392	14,698	7,573	42,663	7,756		7,756		27		27	